



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行

お問合せは上記へ

磯原町木皿のときわ団地の水害対策工事

工期は十月五日〜来年一月二日



磯原町木皿のときわ団地の水害については、党市議団が議会で再三とりあげ、対策を求めてきました。そして今年度、冠水対策として1700万円の予算がついています。この対策工事が、10月5



マウントあかね「収穫祭&どぶろく祭り」

どぶろくをはじめ、アンコウ鍋や牛串ほか農水産物が並びました。竹細工やワラぞうり体験コーナーもあり、県外からも含めた多くの参加者でにぎわいました。

日〜来年1月2日の予定ではじまっています。工事場所は、団地北側の排水側溝216m。これが完成すれば、排水能力は2・9倍に高まるとされています。

難工事が予想されます。現地に建っている電柱数本の補強工事を始め、特大のU字溝の発注・製造、工事中の湧水対策など、いくつかの課題があります。交通規制についても協議中で、担当課では11月下旬には本格工事に切りかかりたいとしています。

大北川への汚水流出

工場も行政もいつそうの注意を

前号で速報した大北川河口付近に流出した汚水は、磯原工業団地内の工場から機械の潤滑油がもれたものと判明しました。

10月26日、お昼前に市民からの通報を受けて、市生活環境課が現場にかけつけました。まず各工場の排水のマンホールを調査しましたが、すぐには流出元は

特定できませんでした。

そこで改めて、河口流出現場から臭いを頼りにさかのぼり、某工場脇より流れているのを発見。ただちに会社側と折衝し、流出を抑える措置をとりました。油が水溶性であったこと、また比較的迅速な対応ができたことで、漁場への影響はほほないだろうとみられています。



高萩警察署から鑑識官も出動

工場では、金属切断のさいに使う潤滑油を保管するドラム缶があふれているのに気づかず、それがピットにこぼれ出て、さらに外部の水路に流出したものでした。会社側では、汚染された水路の洗浄・吸引の対処をしました。

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木康子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。

県河川課では、工場に対し保管等についての改善指導をすすめることです。また市担当でも、市内工業団地内工場に対し、保管について厳重な管理をするよう何らかの注意喚起をしたいと話しています。「じっさいに油が流れてい

る現場を目にしたときには、とても心配になった。幸いにして大事に至らなかったようだが、排水・廃油等の管理については、注意を重ねて十分な対処をすべきで、行政側もしっかり指導してほしい」と党市議団では語っています。

公民館まつり(中郷町)



中郷公民館高齢者サークル主催の「歌う会」